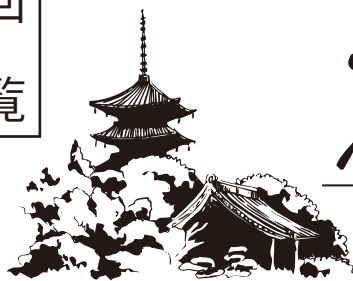


回覧



わがまち池上

池上管内世帯人口数
(外国人住人を含む)
(令和 7 年 11 月 1 日)

- ・世帯数 25,546
- ・人口 (男) 22,567
- ・人口 (女) 23,406
- ・人口 (計) 45,973

発行：地域力推進池上地区委員会

編集：地域情報紙
「わがまち池上」編集委員会

事務局：大田区池上特別出張所
〒146-0082 大田区池上1-29-6
電話 (3752) 3441 (代)



発行日 3・6・9月の25日、12月15日

池上の昔を語る(40) 川田 彰得さんに聞く、 (池上六丁目在住)

私は現在池上通り、本門寺前バス停の前でクリニックを開業しています。初代川田医院を父が開設したのは、2・26事件の少し後だと聞いています。太平洋戦争の始まる3か月前に、当時の東邦女子医専で私は生まれましたが、大戦も終末に迫ったところ、強制疎開で街並みが兵隊達の手によって倒壊させられていく情景が、おぼろげな記憶の片隅に残っています。物心つくとももなく池上小学に通っていました。上田若松校長、担任は稲葉先生でした。池上小学は戦災で焼け、一棟残った二階建ての木造校舎で二部授業でした。2年3年は小栗先生、4年小林先生、5年宮島先生、赤羽先生、6年赤松先生。5年の2学期から、徳持小学校が開校され、池上駅より南半分のクラスメートとはお別れでした。

父は静岡県小笠郡平川の村医川田壽角の四男で兄弟がみな医師や軍医になったのに祖父の許しをもらえず、歯科医師なら良いと言われ、池上に開業しましたが、2人の息子が医師になったことを慶び、診療所の名称も、医院の文字をつけていました。父の死後、私の弟は柏崎で開業し、私は荏原病院で勤務医を続けていましたので、川田医院はしばらく空白があ



りました。平成2年、池上で開業し復活を果たし、以来35年、池上と共に歩んできました。四中、1年E組佐々木先生、2年I組竹下先生、3年I組猿渡先生。公平校長は「為せば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり」という上杉鷹山の歌を朝礼の度に唱えられ、今も座右の銘としています。公平先生の、「為せばなる...」とプラスバンドは四中の全校朝礼の名物でした。

千葉大学医学部の6年のあと、国立東京第二病院(独立行政法人国立病院機構、東京医療センター)でインターンを終え、中山恒明先生が東京女子医大に移籍していらっしゃいましたので、東京女子医大消化器病センター外科へ入局しました。小学校4年の時、川田医院の玄関脇の松の木に登り左鼠径ヘルニアになり、すぐに島田病院の島田信義先生の執刀で手術を受けました。院長の故・島田先生は現在も私の尊敬する医師の一人です。

女子医大消化器病センターでの医師としての研鑽は、私の生涯の中心的な事象でした。1年目は、先輩達から医師としての基本的な消化器外科の手術を教えられ、2年目は関連病院で外科の現場にて実践を通して習得させられました。私は日立市志村病院、甲府市宮川病院へ出張し、それぞれ数ヶ月間ずつ種々な消化器疾患、外科疾患の診療に携わりました。胃・十二指腸潰瘍の治療薬は、当時有力なものがなく、潰瘍からの出血、穿孔による腹膜炎など緊急手術を要する患者さんも多く、日夜、多忙な診療生活に追われました。また胃癌・食道癌、大腸癌等の手術にも携わりました。医局に戻ると消化器外科の手術・診療に加えて、専門癌の研究に加わりました。6年間で一通りのカリキュラムを終え、博士号を取得し、荏原病院などへの出張があり、13年間の医局在籍の後、開業を決意しました。病院開設を視野に置いて検討しました

が、池上で消化器診療を中心とする診療所を開設しました。開業すると地域医療に携わるため、大森医師会理事・会長を拝命、地域社会のお仕事で田園調布ロータリー・クラブ会長をし、現在は昭和医科大学客員教授を拝命しています。

開業以来、池上の皆様のご支援とりわけ池上小学・大森四中の同窓の方々の応援を頂き、川田医院はいつものように診療にあたっています。あと何年働けるか、可能な限り地域の皆様の医療に貢献できることを願っております。

山口体験美術館オープン

中央八丁目に新しく『山口体験美術館』が10月29日にオープンしました。美術作品の鑑賞だけでなく、様々なアートを体験し、まさに学べる美術館です。体験の内容としては、「人間国宝作の茶器」でお茶を味わうことや、「絵皿の絵付け」「美術作品を触ってみる・持つてみる」「陶芸の制作」などです。館内に入ると開放的な空間が広がり、アートショップ、美しく整えられたお茶室がありま

す。また、食事やお茶を楽しめるカフェスペースが壁面に沿って続き、その奥には、ピカソ(展示室1)と岡本太郎(展示室2)があります。美術作品は1階から3階まで1〜10の展示室で構成されており、夫々にテーマが設けられています。展示室1『生きる喜び』(ピカソのセラミック)、展示室2『ぶつかりあうエネルギー』(岡本太郎)など。

中央八丁目に新しく『山口体験美術館』が10月29日にオープンしました。美術作品の鑑賞だけでなく、様々なアートを体験し、まさに学べる美術館です。体験の内容としては、「人間国宝作の茶器」でお茶を味わうことや、「絵皿の絵付け」「美術作品を触ってみる・持つてみる」「陶芸の制作」などです。館内に入ると開放的な空間が広がり、アートショップ、美しく整えられたお茶室がありま

す。また、食事やお茶を楽しめるカフェスペースが壁面に沿って続き、その奥には、ピカソ(展示室1)と岡本太郎(展示室2)があります。美術作品は1階から3階まで1〜10の展示室で構成されており、夫々にテーマが設けられています。展示室1『生きる喜び』(ピカソのセラミック)、展示室2『ぶつかりあうエネルギー』(岡本太郎)など。

入場料
(大田区民) 一般 千円
(体験なし) 八百円
(区外) 一般 千四百円
開館時間 9時30分〜17時
休館日 火曜日

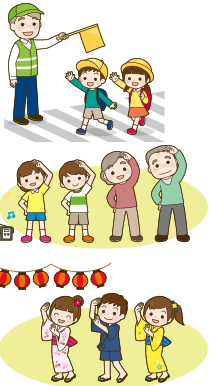


市野倉南町会の活動紹介

市野倉南町会は、地域に住む皆さんが自主的に運営し、ふれあいや助け合いを大切にする住民組織です。一年を通じて、地域のつながりを深めるさまざまな活動を行っています。

主な行事としては、新年会やお祭り、盆踊り、子ども祭など、世代を問わず楽しめる催しがあります。また、ラジオ体操や交通安全活動、防災訓練、歳末警戒パトロール、定期的な安全見回りなどを通じて、安心して暮らせるまちづくりにも力を入れています。

環境美化では、町内清掃や資源ごみ回収を行い、防犯面では防犯カメラや防犯灯の設置を進めています。さらに、小中



学校との交流や地域の認知症ホームとのふれあいを通じて、世代を超えた地域の絆づくりにも取り組んでいます。お子さんの誕生や小学校入学、敬老のお祝いなど、人生の節目を地域全体で温かく見守る活動も続けています。

これらの活動を通じて、住民同士の顔が見える関係を築き、いざという時に助け合えるまちを目指しています。新しい住民の方も大歓迎です。地域の一員として、ぜひ町会活動にご参加ください。

市野倉南町会長

三瓶 勝司

令和七年「施設見学会」

昨年同様、瑞穂降る中、地域力推進委員の皆さんと弊紙編集委員、出張所職員と東村山「国立ハンセン病資料館」を訪問しました。過去に癩病と呼ばれ、何の根拠も無い偏見と差別を受け続けた歴史を学んで参りました。

資料館前では、松本清張のハンセン病をテーマにした『砂の器』の一シーンを彷彿とさせる、お遍路装束の母娘像が迎えてくれました。何か訴えたげな母娘像をあとに館内へ、学芸員の解説を拝聴し、順路に従い数々の展示物を見学、一階の広い展示場には、外部からの出入りが制限されたため、自衛用の消防車や数少ない娯楽を楽しんだであろう、映画観賞

用の重厚な映写機、往時の療養所内での日常生活を少し垣間見る事が出来ました。

又、ハンセン病治療に貢献された外国人の写真入りパネルコーナーに、唯一の邦人「井深八重」のパネルを熟読してみたところ、そこに記された内容が遠藤周作の小説『私が棄てた女』に酷似していたので、後日調べたところ、推測通り井深さんモデルにした作品でした。パネルによると八重さんは若き頃ハンセン病と診断され療養所へ入所、のちに誤診であることが判った後も看護士の資格を取得し療養所に留まり、献身的に患者へ寄り添い、励ましつつ医師と共に治療にあたった経歴が題材になったようです。

資料館に隣接する療養所「国立多磨全生園」には、現在も数十名の方が生活され、全国の療養所には九百名程の方々が、帰郷することなく、未だ入所されていらっしゃるそうです。

過去の誤った隔離政策を学んだ資料館をあとに、近年国宝に指定され話題となった、白鳳期に造られたとされる日本最古の仏像「銅造釈迦如来倚像」を安置する関東の古刹「深大寺」を拝観し、北に隣接する神代植物園で、薔薇園などを見学して帰路につきました。



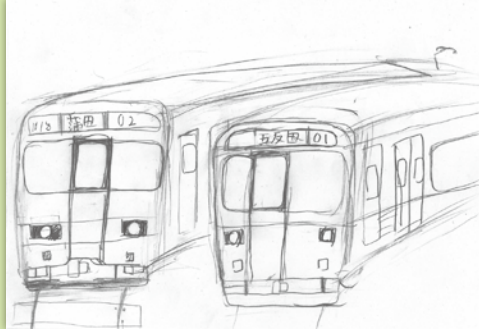
池上第二小 作品

本門寺公園

6年後藤 菜里

皆さんにとって池上本門寺とはどんなものですか。私にとって池上本門寺は大切な存在です。なぜならたくさん自然や大きな公園、御会式があり、誰もが楽しめる場所だからです。

四月には桜が咲きます。ピンク色の桜がたくさん咲いてとても感動します。私はきれいな桜を見



『池上線』 6年 平田 悠人



『本門寺』 6年 長久保 陽



『池上七福神』 6年 室伏 一華

て、優しい気持ちになります。また、池上本門寺には本門寺グラウンドがあります。学校にはない高く大きな鉄棒があり、私は蹴上がりという技が得意な鉄棒でもできるように頑張りました。友達と行くときなどは鬼ごっこや鉄棒、ブランコ、シーソーなども楽しめます。ベンチも

あり座ってゆっくりする事もできます。本門寺グラウンドは池上第二小学校の避難訓練の二次避難所としても使っています。私は池上本門寺の公園について大人から子供まで笑顔になれる公園だと思います。

池上本門寺は十月には御会式があります。屋台がたくさん

青少対だより

10月19日(日)池上会館で、ボッチャ交流会を開催しました。25チームと多くの参加があり、決勝は昨年優勝の『くりまんじゅう』と『ほっしーず』の戦いが行われ、『くりまんじゅう』が激戦を制して二連覇の快挙を成し遂げました。



11月3日(文化の日)には恒例となりました、地域ふれあいコンサートを池上会館で開催いたしました。今回はインフルエンザの流行により池上第二小学校が欠席となりましたことはとても残念でした。出演された団体も13と多く、また今回初となる部会長の倉野さんの迫力ある美声が室内に響き渡りました。

編集後記

ずっとずっと昔のずつとち東京と呼ばれるのちに縄文と名付けられた文化の片隅の地に縄文を甦らせよ縄文の森を守ってきた池上よ！



俳壇

両イベント共にご尽力いただきました、小学校3校のPTAの皆さんや池上ジュニアリーダークラブの皆さんに感謝申し上げます。

年明けから池上会館の改修工事が始まりますので、来年の予定はまだ分かりませんが皆さんの笑顔がふれる池上になればと思っています。



夏みかんの
花の散り敷く 狭庭かな
近頃は
とんと見かけぬ 蠅叩き
灯台を
群れて支える 野水仙
孫に背を
流して貰ふ 菖蒲風呂
連山の
高みに映ゆる 冬紅葉

